

令和6年度第1回東大阪市景観審議会デザイン部会

議 案 書

日時 令和6年8月22日(木) 午前10時

場所 東大阪市役所本庁舎 14階会議室

目 次

議案第 1 号	東大阪市立新博物館整備事業について（諮問）	・ ・ ・ ・ ・ P. 1 ～ P. 6
議案第 2 号	東大阪市環境事業所再編整備事業について（諮問）	・ ・ ・ ・ ・ P. 7 ～ P. 15

議案第1号 東大阪市立新博物館整備事業について（諮問）

1. 諮問案件

建築物名	東大阪市立新博物館整備事業	主要用途	博物館
事業者	文化財課	想定建物高さ	約14m
所在地	東大阪市南四条町3-33	想定階数	地上3階
敷地面積	2,464.7㎡	想定構造	鉄筋コンクリート造 または鉄骨造を想定 （詳細検討中）
想定建築面積	約960㎡	事業手法	（詳細検討中）
想定延べ床面積	約2,700㎡		

※各数値は、基本計画策定中につき参考数値

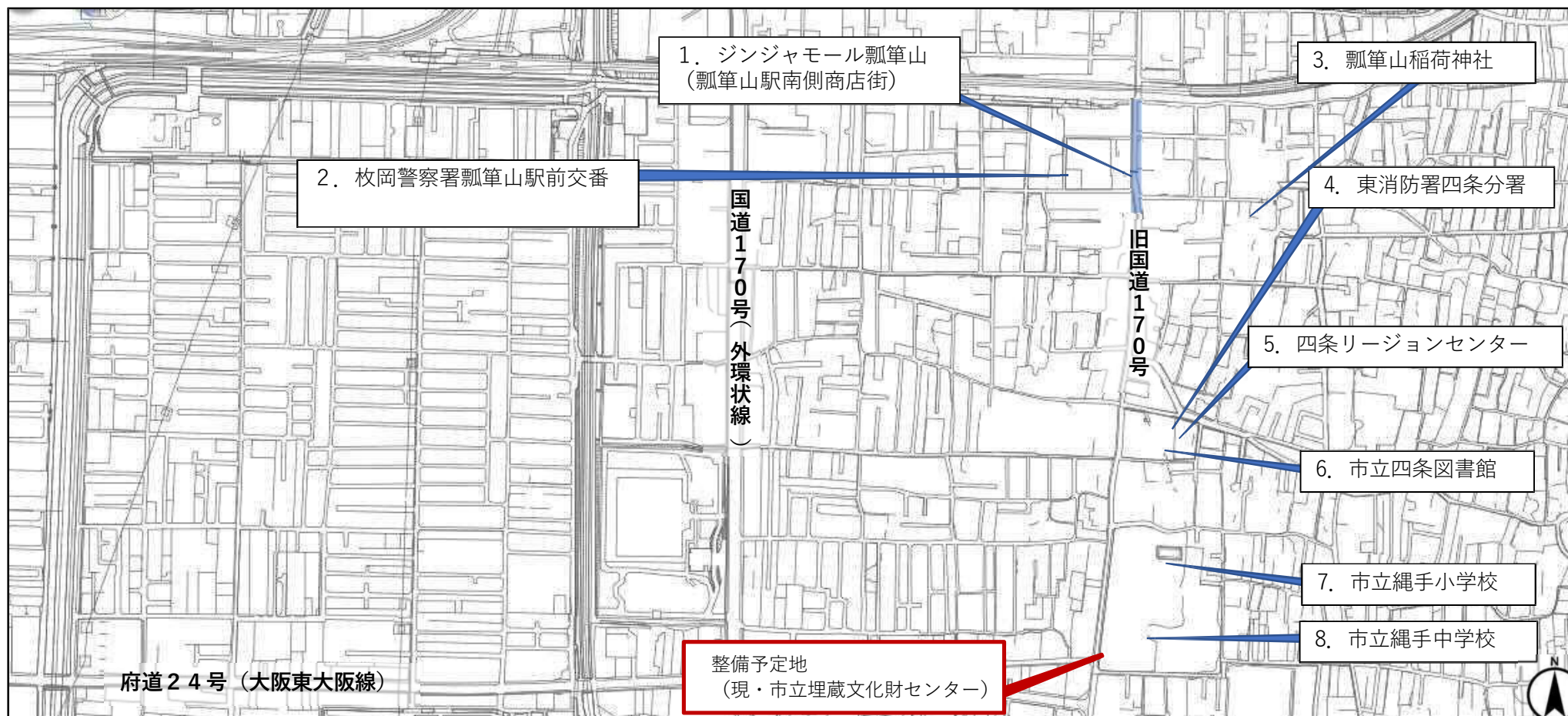
2. 周辺現況と主要交通



新博物館（予定地）までの主な交通手段

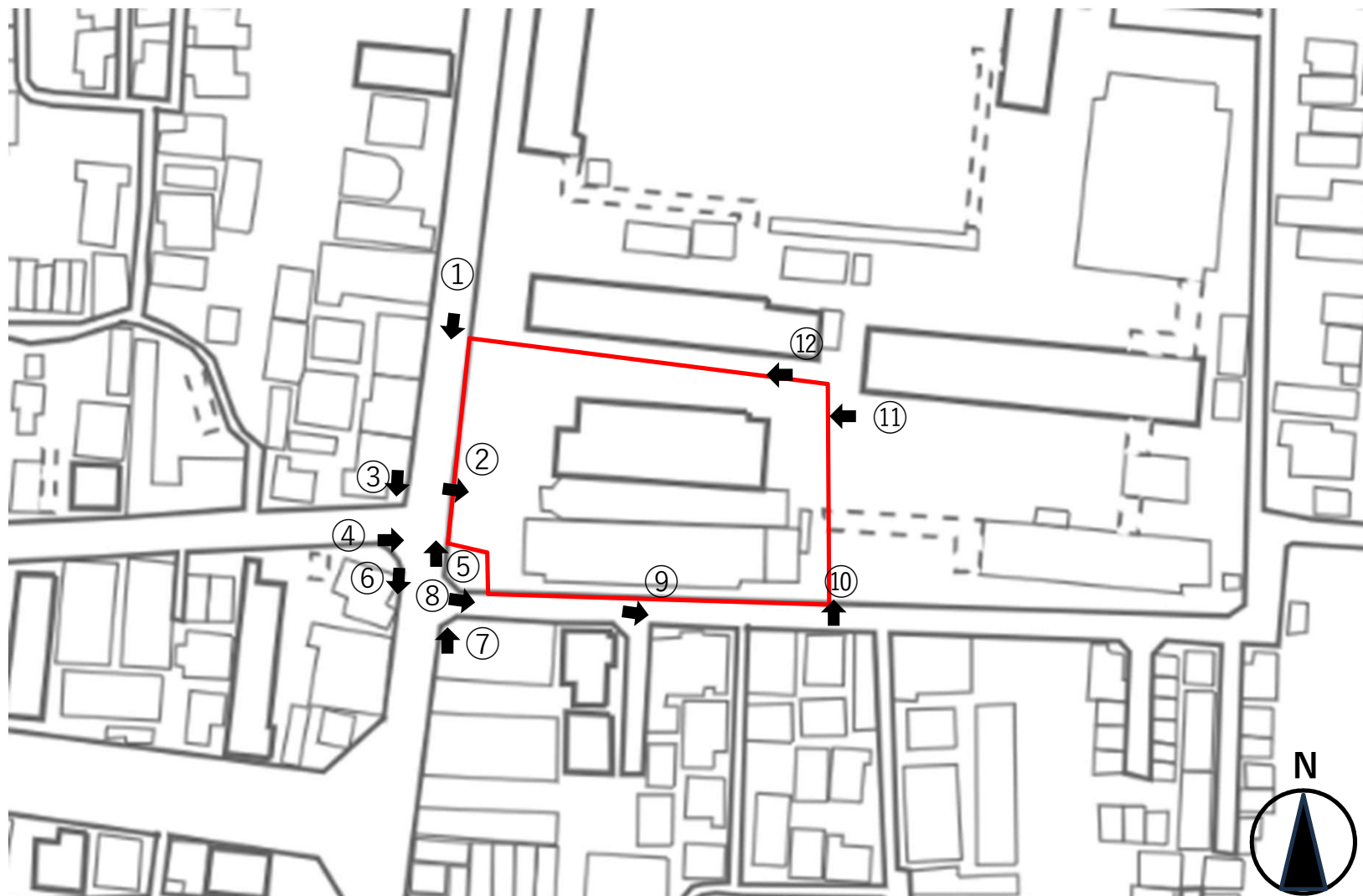
- 近鉄奈良線：瓢箪山駅（南へ約700メートル、徒歩10分）
- 近鉄バス：下六万寺二丁目バス停（北へ約130メートル、徒歩2分）

3. 施設整備予定地周辺の施設配置図



1. ジンジャモール瓢箪山	2. 枚岡警察署瓢箪山駅前交番 (移設後)	3. 瓢箪山稲荷神社
		
4. 東消防署四条分署	5. 四条リージョンセンター	6. 市立四条図書館
		
7. 市立縄手小学校	8. 市立縄手中学校	
		

4. 施設整備予定地周辺の周辺現況写真



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



5. 景観上の配慮

外観	・西側道路（府道）を正面道路として、視認性の高い建物とするとともに、周辺のまちなみや背景となる生駒山系と調和し、景観を損なわない統一感のあるデザインとする。
色彩	・外壁、屋根等の基調となる色彩は著しく派手なものとはせず、周囲と調和のとれた色彩とする。
緑地	・周辺のまちなみと調和する植栽等を行うとともに、敷地内における屋外活動の実施を考慮した緑化に努める。
外構	・西側の正面道路と建物の間に開放的な広場空間を設けるなど、沿道と歩行者空間との一体性や連続性に配慮した建物の配置計画とする。 ・大型バスを含む車両の出入りを想定し、現況、南西交差点内にある車両出入口を、交差点から北側に約8mほど離れた西側道路（府道）に面して設ける。車両および歩行者の安全性を考慮した動線・配置計画を行う。 ・隣接施設である縄手中学校との境界（北側・東側）を明確にし、フェンス等で区分する。

■西側道路より、建設計画地正面の景観
（現・市立埋蔵文化財センターを解体の上、新築予定）



議案第2号 東大阪市環境事業所再編整備事業について（諮問）

1. 諮問案件（表中の記載内容・数値等は、現在策定中の環境事業所再編整備計画に基づくものであり今後変更の可能性がある）

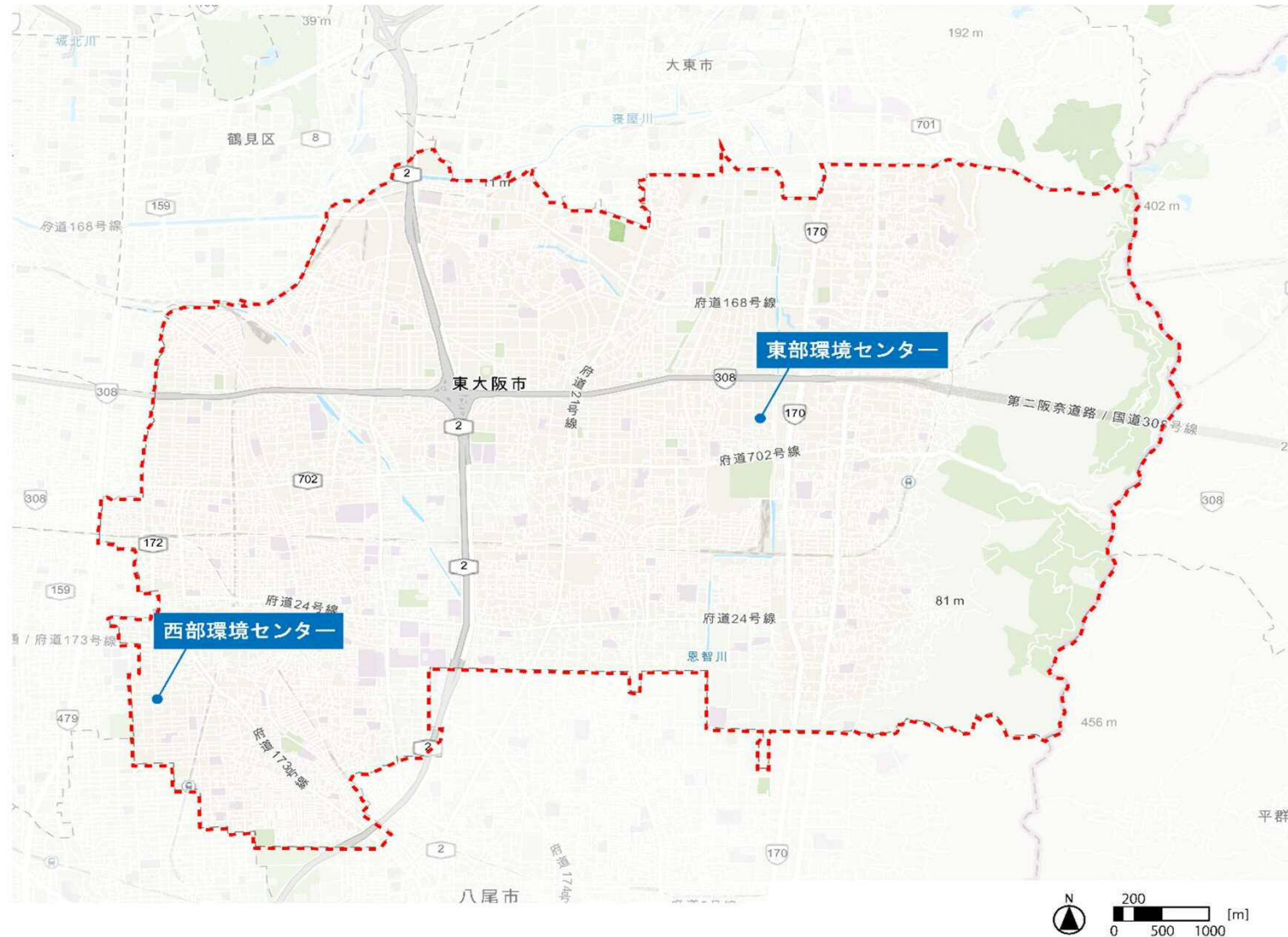
建築物名	（仮）東部環境センター	事業所管課	環境部環境事業課
所在地	水走一丁目304－2、304－3	想定階数	地上4階（詳細は調整中） 災害時の浸水を想定し、1階部分はピロティ、駐車場部分は立体駐車場を想定
敷地面積	3,100㎡	整備手法	現在PFI導入可能性調査を実施しており、手法は未定
想定延床面積	約2,500㎡(立体駐車場は除く) （詳細は調整中）	想定構造	施設規模から鉄筋コンクリート造もしくは鉄骨造を想定 （ただし、詳細は未定）

建築物名	（仮）西部環境センター	事業所管課	環境部環境事業課
所在地	渋川町2丁目12－8 （現 西部環境事業所）	想定階数	地上4階（詳細は調整中） 災害時の浸水を想定し、1階部分はピロティ、駐車場部分は立体駐車場を想定
敷地面積	2,900㎡(公簿)	整備手法	現在PFI導入可能性調査を実施しており、手法は未定
想定延床面積	約2,500㎡(立体駐車場は除く) （詳細は調整中）	想定構造	施設規模から鉄筋コンクリート造もしくは鉄骨造を想定 （ただし、詳細は未定）

2. 施設の概要等（表中の記載内容等は、現段階のものであり今後変更の可能性がある）

施設概要	本市には現在、東部環境事業所、西部環境事業所、中部環境事業所、北部環境事業所の4つの環境事業所と美化推進課があるが、5施設とも築40年以上が経過し、建物躯体や仕上げ、設備等の著しい劣化がみられるため、統廃合し、新しく（仮）東部環境センターと（仮）西部環境センターを整備するもの。
施設の基本方針	①2か所に統合された効率性の高いごみ収集拠点の整備 ②多様化する資源物の排出ニーズに対応した回収・保管拠点の整備 ③危機事象時において迅速に対応できる収集拠点の整備

3. 施設整備予定地周辺の現況



施設（予定地）までの主な交通手段

○東部環境センター：近鉄けいはんな線 吉田駅（東へ約1,100メートル、徒歩15分）

○西部環境センター：おおさか東線JR長瀬駅（西へ約1,000メートル、徒歩14分）

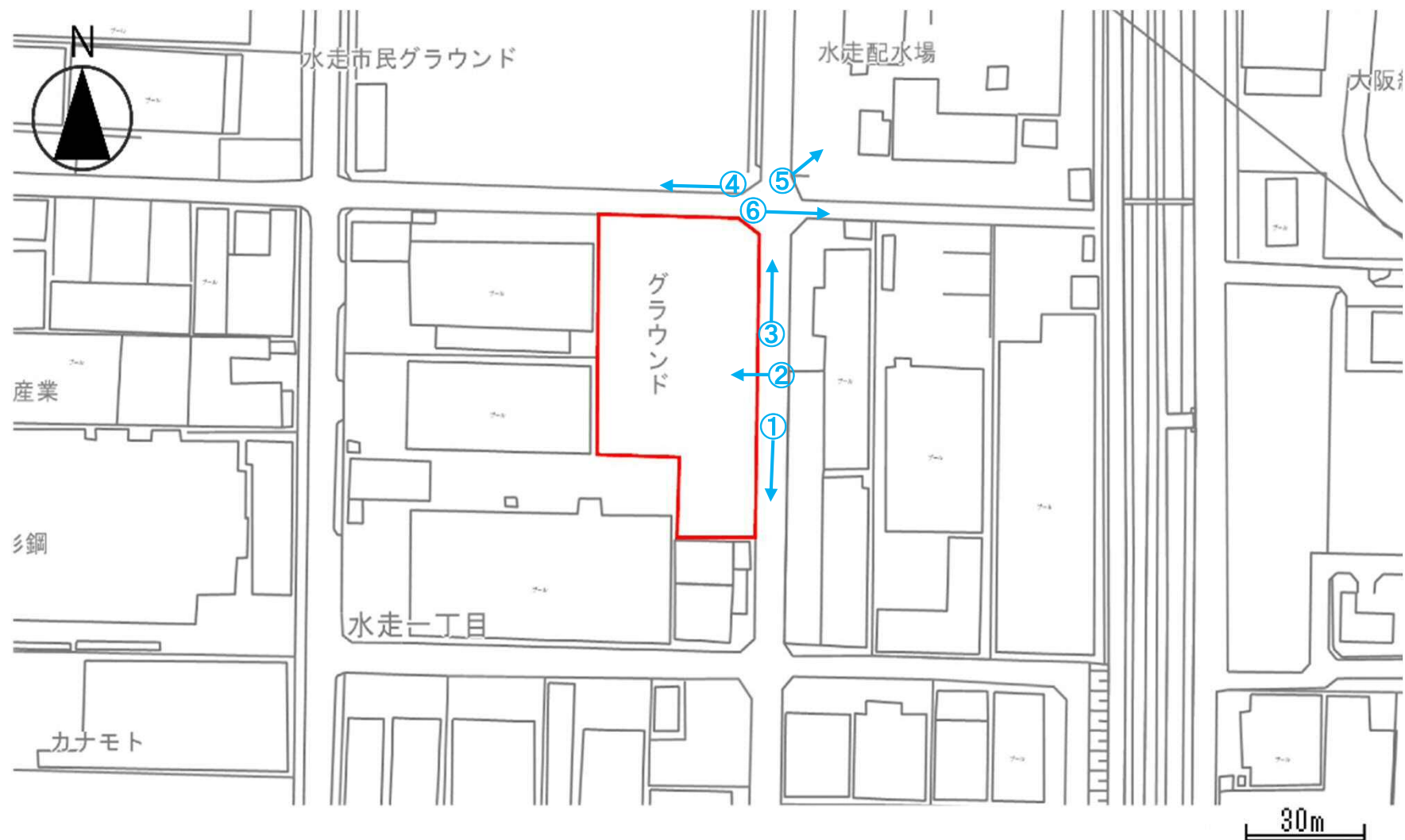
(仮) 東部環境センター 周辺施設配置図



(仮) 西部環境センター 周辺施設配置図



(仮) 東部環境センター 周辺現況写真



①



②



③



④



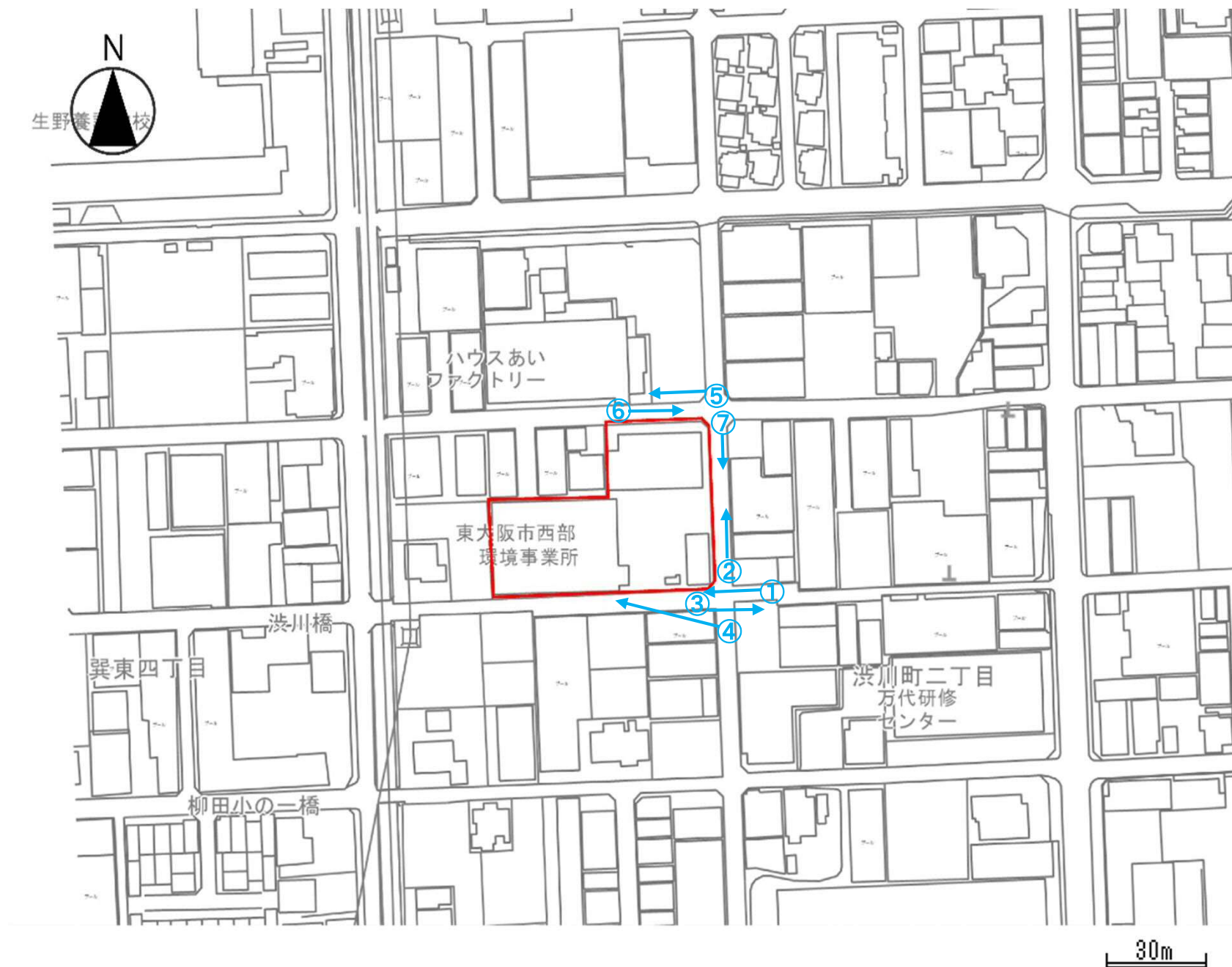
⑤



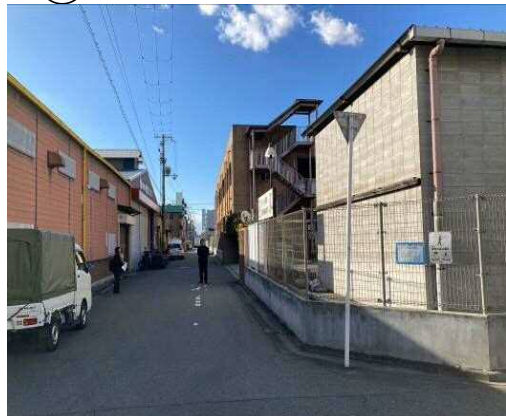
⑥



(仮) 西部環境センター 周辺現況写真



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



4. 景観上の配慮（表中の記載内容・数値等は、現在策定中の環境事業所再編整備計画に基づくものであり今後変更の可能性はある）

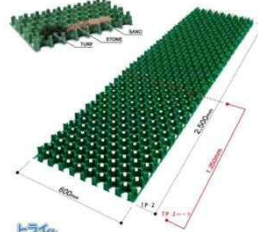
外観	・資源物（段ボールなど）の持込み等で市民の方が訪れる施設であることから、明るく親しみのある印象を与えるデザインとする
色彩	・事務所と立体駐車場で構成される中規模の施設となるため、周辺環境に配慮した色彩となるよう計画する
緑地	・出入口付近に緑化スペースを設けるなど、親しみやすいエントランス空間とする ・沿道は緑化を行い周辺環境に配慮する
外構	・一般来庁者用の玄関と収集員の出入口を分ける ・外側から収集車が見えないようにメッシュの塀を設置する ・外構材の東大阪ブランド製品（※）の活用を検討する

（※）東大阪市では本市の事業者が製造した優れた製品を東大阪ブランド製品として認定し、市内事業者の製品開発の促進を通じてモノづくりのまちとしての都市イメージ向上を図っている。



東大阪ブランド（商標）

（例）ターフパーキング
（株式会社カツロン）



駐車場や屋上緑化での利用多数

ターフパーキングの緑化率は、92%と高く、緑化計画の一環で駐車場を芝生化する際にも役立つ製品です。

六角マーカーを使用することで、白線を引いたり、駐車場番号や車いすマークを明示することも可能です。



写真：販売webサイトより